

被災地と、
みんなを結ぶ

2014年1月17日 No.25

つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp

日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

JP労組
の活動紹介

被災地の思い 支える活動 寄り添う活動 ～心ひとつに運動～

JP労組の各地本では、「心ひとつに運動」として東北復興支援活動を展開しています。中国地本&四国地本は、宮城県仙南支部をサポートし、「仙南へ凶書と元気を届けようカンパ」の贈呈を行うとともに、津波被害の大きかった山元町の被災農家でボランティア活動を行いました。また信越地本は、岩手県久慈市において、大震災から得た教訓と絆を後世に伝えるため復興シンボルを建立する活動に参加しました。この3地本の活動を紹介します。



◆中国地本&四国地本→宮城県仙南支部エリアで活動

○農作業・清掃ボランティアを実施



ボランティア第1陣は、イチゴ農家でビニールハウスの外周を土が流れないように埋め、苗を植えるための選定作業を実施。さらに被災された方の自宅周辺の竹藪伐採(写真左)を行いました。第2陣はハウス内でのイチゴの芽摘み、ビニールかけ、清掃、ビニールハウスの設営、側溝の清掃等も行いました。

○自分たちの思いを自分たちの手で届ける

今なお仮設住宅で生活している方々に対して移動図書館を運営し、被災者支援を行っている「シャンティ国際ボランティア協会」に対して、両地本で作成した貸出バッグ500袋を贈呈するとともに、津波被害に遭った沿岸部の自治体や私立の幼稚園・保育園を中心に13自治体・25園を寄贈訪問しました。喜びの声や継続的に支援を続けていることに対するお礼の言葉をいただきました。



<参加者の声(一部)>

- 「耳で聞くこと」と「目で見ること」の違いに気づいた
- 人は一人では生きていけないことに気づいた
- 止まった時計が広島と重なった
- つぶやいた言葉にあの日の爪痕を感じた
- 復興にはまだまだ時間がかかり、継続した支援活動が必要だと感じた
- 東北魂のすごさを感じた

◆信越地本→岩手県北支部エリアで活動



↑NHK「あまちゃん」で使用された看板

岩手県久慈市において、大震災から得た教訓と絆、さらに過去の大津波の記録も後世に伝えるため、地域の復興のシンボルとして、今回の津波の高さ 14.5メートルの「東日本大震災モニュメント・ケルン・鎮魂の鐘と光」を建立するために立ち上げられた「モニュメント建立の会」の企画に参加し、清掃ボランティアを行い(写真左上)、石積みのもととなる石に参加者が復興応援メッセージを書き込みました。

「あらためて絆の大切さを実感できた」「復興に向けて頑張っている人たちを応援したい」と参加者から声があがり、今後も「心ひとつに運動」を深化させていきます。



画像：特定非営利活動法人「岩手・久慈ケルンの会」HPより

以上

★連合が関係するNPO・NGO団体の活動紹介★

第5回 Make a CHANGE Day (1年に1日、ボランティア・市民活動を行う日)
参加登録受付中！

2013年10月1日から2014年3月31日の期間内に実施するボランティア活動を登録することにより、皆さんの持つパワーを地域や国を超えてより大きな「ひろがり」につなげ、社会に変化を起す「ボランティア参加プログラム」です。

詳細はこちらをご覧ください→<http://makeachangeday.com/>

2名以上のグループで実施するボランティア活動であれば、実践場所・活動分野・実施形態を問わず、実施済の活動も参加登録可。登録期限は2014年3月31日です。

【主催】Make a CHANGE Day 実行委員会

＜構成団体＞ 特定非営利活動法人愛・地球博ボランティアセンター・特定非営利活動法人愛知ネット・特定非営利活動法人ボランティア活動推進国際協議会日本 (IAVE 日本) 他

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

連合連帯活動局・西野 TEL03-5295-0513 FAX03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp